

社会資本総合整備計画

平成 28 年 3 月 23 日

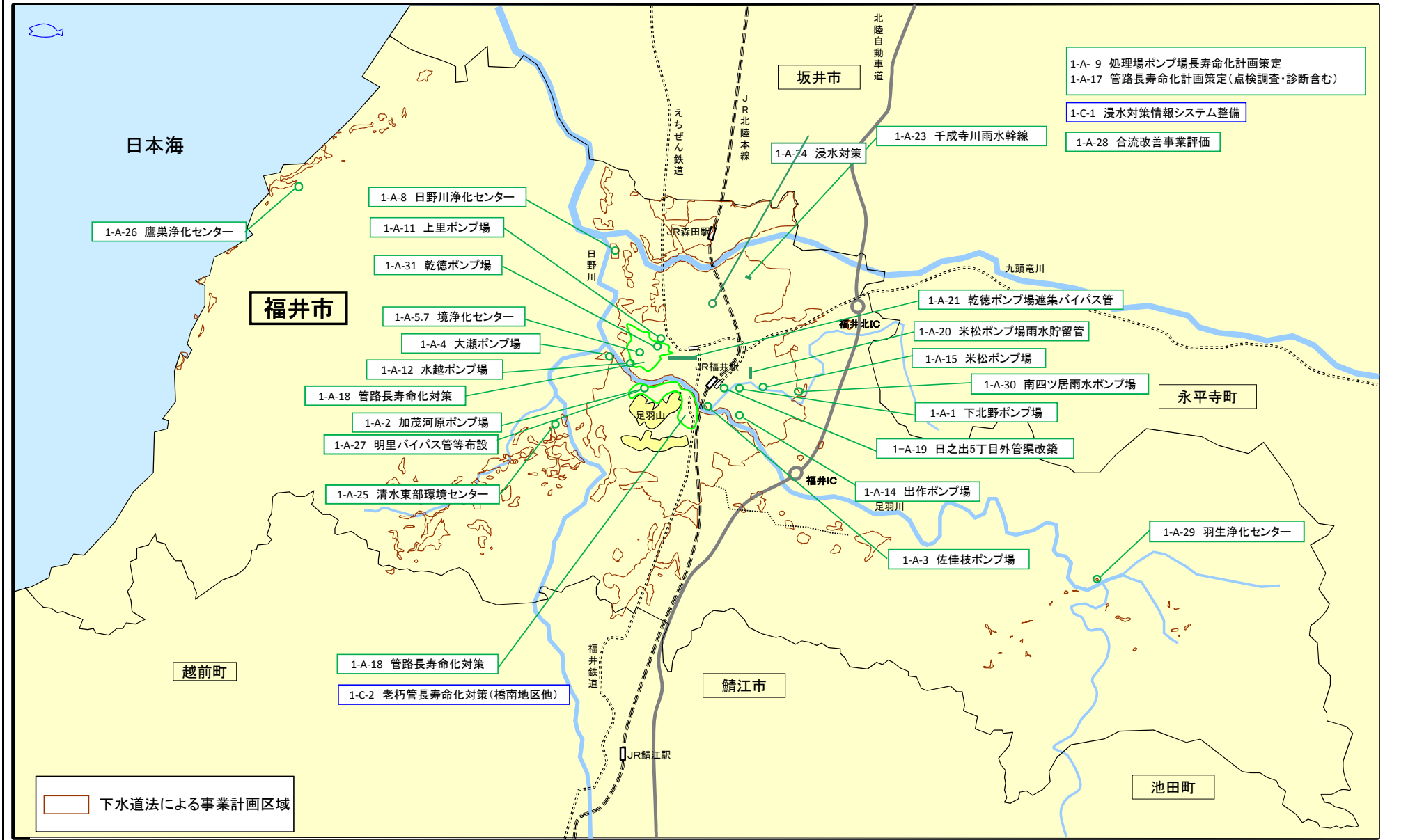
計画の名称	福井市における下水道施設の防災・安全向上計画（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成27年度（6年間）	交付対象	福井市
計画の目標	下水道施設の防災、安全対策を進め、安全で安心な暮らしを実現し、水質汚濁による環境負荷を軽減する。		
計画の成果目標（定量的指標）	①供用開始後50年以上を経過し改築が必要となるポンプ場の改築率を33%(H27)にする。 ②合流式下水道改善率を40%(H22)から100%(H25)に増加させる。 ③処理場・ポンプ場の長寿命化計画策定率44%(H22)から100%(H27)に増加させる。 ④H27年度末までに長寿命化対策が必要な処理場の対策の着手率を100%(H27)とする。		
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H22当初) 中間目標値 (H25末) 最終目標値 (H27末) 備考
①供用開始後50年以上を経過し改築が必要となるポンプ場の改築率 改築済みポンプ場数（箇所）／供用開始後50年以上を経過し改築が必要となるポンプ場数（6箇所）	17%	33%	33%
②合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み排水面積（ha）／合流式下水道排水面積（1,689ha）	40%	100%	100%
③処理場・ポンプ場の長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済の処理場・ポンプ場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場・ポンプ場数（15箇所）	44%	60%	100%
④H27年度末までに長寿命化対策が必要な処理場の対策の着手率 対策着手済み処理場数（箇所）／対策を実施すべき処理場数（5箇所）	20%	40%	100%
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,612.5百万円	A 7,478.0百万円 B C 134.5百万円
			効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 1.8%

交付対象事業

A 下水道事業										事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26			H27
1-A-1	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	下北野ポンプ場	改築（土木・建築・機械・電気） 120㎡/分	福井市							230.8	
1-A-2	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	加茂河原ポンプ場	ポンプ場（土木・建築・機械・電気） 834㎡/分	福井市							361.2	
1-A-3	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	佐佳枝ポンプ場	改築（建築・機械・電気） 327㎡/分→718㎡/分	福井市							2,120.4	
1-A-4	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	大瀬ポンプ場	電気計装設備改築	福井市							81.3	長寿命化
1-A-5	下水道	一般	福井市	直接	—	処理場	新設	境浄化センター（合流改善）	雨水滞水池 3300㎡	福井市							191.3	合流改善
1-A-7	下水道	一般	福井市	直接	—	処理場	改築	境浄化センター	CRT装置/シーケンスコントローラ監視/現場設備 改築	福井市							261.3	長寿命化
1-A-8	下水道	一般	福井市	直接	—	処理場	改築	日野川浄化センター	汚泥処理設備/電気計装設備/沈砂池設備/ポンプ設備/水処理設備 改築	福井市							830.7	長寿命化
1-A-9	下水道	一般	福井市	直接	—	処理場	改築	処理場ポンプ場長寿命化計画策定	処理場ポンプ場長寿命化計画策定	福井市							39.0	長寿命化
1-A-11	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	上里ポンプ場	ポンプ設備改築	福井市							28.9	長寿命化
1-A-12	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	水越ポンプ場	ポンプ設備/沈砂池設備/電気計装設備 改築	福井市							530.8	長寿命化
1-A-14	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	出作ポンプ場	沈砂池設備改築	福井市							27.4	長寿命化
1-A-15	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	米松ポンプ場	ポンプ設備改築	福井市							20.6	長寿命化
1-A-17	下水道	一般	福井市	直接	—	汚水	改築	管路長寿命化計画策定（点検調査・診断含む）	管路長寿命化計画策定（点検調査・診断含む）	福井市							297.7	長寿命化
1-A-18	下水道	一般	福井市	直接	—	汚水	改築	管路長寿命化対策	φ=250～1500mm L=2,460m	福井市							314.9	長寿命化
1-A-19	下水道	一般	福井市	直接	—	汚水・合流	改築	日之出5丁目外管渠改築	φ=300・400mm L=158m	福井市							13.9	
1-A-20	下水道	一般	福井市	直接	—	合流	新設	米松ポンプ場雨水貯留管（合流改善）	φ1500mm L=340m 貯留量600㎡	福井市							289.4	合流改善
1-A-21	下水道	一般	福井市	直接	—	合流	新設	乾徳ポンプ場遮集バイパス管（合流改善）	φ800・1000mm L=1,130m	福井市							559.5	合流改善
1-A-23	下水道	一般	福井市	直接	—	雨水	新設	千成寺川雨水幹線	開水路 L=240m	福井市							236.7	
1-A-24	下水道	一般	福井市	直接	—	雨水	新設	浸水対策（幾久町他）	貯留施設等	福井市							415.6	
1-A-25	下水道	一般	福井市	直接	—	処理場	改築	清水東部環境センター	沈砂池・曝気・汚泥処理設備等 改築	福井市							30.9	長寿命化
1-A-26	下水道	一般	福井市	直接	—	処理場	改築	鷹巣浄化センター	CRT装置/曝気装置/発電装置等 改築	福井市							92.5	長寿命化
1-A-27	下水道	一般	福井市	直接	—	合流	新設	明里バイパス管等布設	φ1000～3000mm、L=1,150m	福井市							429.3	
1-A-28	下水道	一般	福井市	直接	—	合流	新設	合流改善事業評価	合流式下水道改善事業の評価	福井市							16.1	
1-A-29	下水道	一般	福井市	直接	—	処理場	改築	羽生浄化センター	沈砂池・汚泥処理設備等 改築	福井市							16.3	長寿命化
1-A-30	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	南四ツ居ポンプ場	電気計装設備改築	福井市							12.2	長寿命化
1-A-31	下水道	一般	福井市	直接	—	ポンプ場	改築	乾徳ポンプ場	沈砂池設備/ポンプ設備 改築	福井市							29.3	長寿命化

小計（下水道事業）											7,478.0						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26	H27		
									福江市								
合計											0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	下水道	一般	福江市	直接	—	新設	浸水対策情報システム整備	浸水対策情報システムの整備	福江市							81.2	
1-C-2	下水道	一般	福江市	直接	—	改築	老朽管長寿命化対策（橋南地区他）	φ=250・300mm L=1,090m	福江市							53.3	
合計											134.5						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-C-1	浸水対策実施状況を把握するシステムを構築することにより浸水状況を瞬時に把握し、早期に対応を行うことにより浸水被害の軽減を図る。																
1-C-2	基幹事業で実施する長寿命化対策を含めて面的に事業展開することにより、地区内の老朽化した管渠の長寿命化を促進し、流下阻害や道路陥没に対する安全性を向上させる。																

計画の名称	福井市における下水道施設の防災・安全向上計画（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成27年度（6年間）	交付対象	福井市



防災・安全社会資本整備交付金チェックシート

計画の名称: 福井市における下水道施設の防災・安全向上計画(防災・安全) 事業主体: 福井市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○